



2016年9月6日

報道関係各位



「日本おもちゃ大賞2016」イノベティブ・トイ部門 大賞受賞！

「東京おもちゃショー2016」注目度 No.1 アイテム！(※1)

「運転士カメラ」
と
「車窓カメラ」

57年間の歴史で初！2台のカメラ搭載型プラレール

「スマホで運転！ダブルカメラドクターイエロー」10月13日(木)新発売スマホでカメラ映像を見ながらプラレールを操作！
録画&SNS投稿も可能！

株式会社タカラトミー

株式会社タカラトミー(代表取締役社長:H.G.メイ/所在地:東京都葛飾区)は、鉄道玩具「プラレール」(※2)シリーズの新商品として、ドクターイエローの車両に搭載した2台のカメラの映像をスマートフォンで見ながら操作できるプラレール「スマホで運転！ダブルカメラドクターイエロー」(希望小売価格:12,000円/税抜き)を、「鉄道の日」・「プラレールの日」の前日である2016年10月13日(木)から全国の玩具専門店、百貨店・量販店の玩具売場、インターネットショップ、プラレール専門店「プラレールショップ」、タカラトミー公式ショッピングサイト「タカラトミーモール」<http://takaratomymall.jp/shop/>等にて発売致します。

運転士目線で楽しめる「運転士カメラ」と、乗客目線で楽しめる「車窓カメラ」の2台のカメラが搭載されていることが最大の特徴で、2台のカメラを搭載する商品の発売は、プラレールの57年間の歴史のなかでも初めてのことで(※3)。また、カメラで撮影した映像は、スマートフォンの専用アプリを介して録画ができるので、保存した走行映像をSNSに投稿して楽しむこともできます。

本商品は、「プラレール運転席からの映像を見ながら運転する」というユーザーの夢を叶えるべく試行錯誤しながら開発を進め、小型カメラ・Wifi技術の発達と、長年培ってきたタカラトミーの玩具設計ノウハウの結集によってついに実現したものです。

その新規性とプレイバリューが評価され、「日本おもちゃ大賞2016」では素材・技術に優れた、新規性のある玩具に送られる「イノベティブ・トイ部門」大賞を受賞し(※4)、さらには2016年6月に開催された「東京おもちゃショー2016」では注目度No. 1アイテムとなりました。

こちらから映像をご覧いただけます



プラレールでは、2015年より、親子での遊びをより一層お楽しみいただくために、スマートフォンの専用アプリとの連動機能を、一部の商品への補助的要素として搭載してまいりました。

今回発売される「スマホで運転！ダブルカメラドクターイエロー」ではプラレール商品として初めて、スマートフォンを使った遊びを“補助的な要素”ではなく、“メインの遊び”として採用していることも特徴です。

①プラレールとスマートフォンの連動遊びがユーザーに浸透しつつあること、②スマートフォンを使って「プラレール運転席からの映像を見ながら運転する」というプラレールファンにとっての“究極の遊び”のひとつが、技術的に再現可能になったこと、の2つの条件がそろったことにより、スマートフォンの遊びをメインに据えた、新たなプラレールが誕生いたしました。

■ プラレール初！2台のカメラを搭載

「スマホで運転！ダブルカメラドクターイエロー」は「運転士カメラ」と「車窓カメラ」の2種類のカメラを搭載しています。「運転士カメラ」は車両先頭に搭載された、運転士の目線での景色が楽しめるカメラで、「車窓カメラ」は車体側面に搭載された、乗客目線での景色が楽しめるカメラです。この「車窓カメラ」の搭載は、プラレール商品としては初めてのことです。これにより、実際に電車に乗っているような気分が味わえるほか、ジオラマ内での車両同士のすれちがいが大迫力の映像と共に楽しめるようになりました。



■ カメラ映像をみながら、スマートフォンで操作

車両本体に搭載された Wifi カメラの映像は、スマートフォンの専用アプリにリアルタイムで転送され、ユーザーはその映像を見ながらプラレールを操作することができます。そのため、ユーザーが自由に作ったレイアウトの景色を、運転士や乗客の気分で楽しむことができます。

また、映像にはランダムで雨や雪などの天候のエフェクトや、朝昼夕方夜などのエフェクトが追加され、景色が様々に変化します。



運転士カメラからの映像



車窓カメラからの映像

さらに、専用アプリを2016年4月発売の「ぼくが運転！マスコン北海道新幹線はやぶさ」(希望小売価格:6,500円/税抜き)と連動させることで、プラレールの操作にマスコンを使用することも可能です。マスコンの上にスマートフォンをセットすれば、本物の運転席のような気分で操作を楽しむことができます。



■ カメラ映像を録画 & SNS投稿！

専用アプリ上には録画機能があり、カメラ映像を録画することができます。録画した動画をただ見て楽しむだけではなく、保存した動画をSNSなどに投稿することで自分が作った走行映像を世界中の人たちに見てもらおうという、新たな楽しみが生まれました。

タカラトミーでは、この録画機能を活用した動画投稿キャンペーンを10月14日(金)より実施いたします。詳細は、プラレール公式サイトにて後日公開予定です。

<http://www.takaratomy.co.jp/products/plarail/>

■ 巨大ジオラマの中を走行！夢の扉モード

専用アプリには、巨大ジオラマのなかを走っているような気分が味わえる「夢の扉モード」が搭載されています。この「夢の扉モード」をオンにした状態で一定時間以上走行をつづけると、カメラ映像がワープ画面に切り替わった後、巨大ジオラマの中を走行している映像が映し出されます。

アプリ情報



アプリケーション名：「スマホで運転！ダブルカメラドクターイエロー」

提供形態：Android, iOS(準備中)

アプリ価格：無料

対応端末：iOS, android ※詳細につきましては、公式サイトにて後日公開予定です。

http://www.takaratomy.co.jp/products/plarail/tettei/set/16_09_pte/index.htm

<商品概要>

- 商品名：プラレール「スマホで運転！ダブルカメラドクターイエロー」
希望小売価格：12,000円(税抜き)
発売日：2016年10月13日(木)
対象年齢：3歳以上
商品内容：ダブルカメラドクターイエロー本体(3両編成)×1編成、取扱い説明書×1
(初回生産分のみ)単3形アルカリ乾電池エボルタ×4
取扱い場所：全国の玩具専門店、百貨店・量販店等の玩具売場、プラレール専門店「プラレールショップ」、インターネットショップ等
著作権表記：JR西日本商品化許諾済 © TOMY 「プラレール」は株式会社タカラトミーの登録商標です。
ホームページ：<http://www.takaratomy.co.jp/products/plarail/>



※レール別売り

<関連商品>



※レール別売り

商品名 : プラレール「ぼくが運転! マスコン北海道新幹線はやぶさ」
希望小売価格 : 6,500円(税抜き)
発売日 : 2016年4月28日(木)
対象年齢 : 3歳以上
商品内容 : 北海道新幹線はやぶさ車両(IRシャーシ)×1編成、
マスコン(IRコントローラー)×1、運転台パネル
(北海道新幹線)×1、取扱説明書×1
取扱い場所 : 全国の玩具専門店、百貨店・量販店等の玩具売場、
プラレール専門店「プラレールショップ」、
インターネットショップ等
著作権表記 : JR北海道商品化許諾済 © TOMY
「プラレール」は株式会社タカラトミーの登録商標です。
ホームページ : <http://www.takaratomy.co.jp/products/plarail/>

「ぼくが運転! マスコン北海道新幹線はやぶさ」は、鉄道車両の運転台に設置されている装置「マスコン(マスター・コントローラー)」を模したコントローラーで本物の運転士のようにプラレールを思い通りに操作することを可能にした商品です。

※1

「東京おもちゃショー2016」でのテレビ取材件数、全メーカー商品別でNo. 1(タカラトミー調べ)

※2 「プラレール」とは

鉄道玩具「プラレール」は、1959年にプラレールの原型である「プラスチック汽車・レールセット」が発売されてから半世紀以上、身近な“鉄道”をテーマに、子どもたちが社会を学び、創造力を育む玩具として愛されています。青いレールを自由につなげて線路をレイアウトし、3両編成の列車を走らせることが基本の遊び方です。

発売当時から現在まで、青いレールの規格は統一されており、現在では親子三世代にわたり親しまれています。日本国内ではこれまでに、累計約1,300種類、1億5,500万個以上を販売しています(2016年3月末現在)。

<http://www.takaratomy.co.jp/products/plarail/>

※3 カメラを搭載したプラレールについて

カメラを初めて搭載し、その映像を見ながら操作できるプラレール商品としては、付属のマスコンをテレビにつないで遊ぶ「TVで遊ぼう! 僕はプラレール運転士」が2000年に発売されており、「スマホで運転! ダブルカメラドクターイエロー」はこれに次ぐ2つ目の商品です。「TVで遊ぼう! 僕はプラレール運転手」はテレビで映像を確認しながらマスコンでプラレールを操作する仕様だったのに対し、今回の「スマホで運転! ダブルカメラドクターイエロー」は1台のスマートフォン上で映像確認・車両操作が完結しているため、操作性が高まり、より遊びやすくなっています。また、2台目のカメラである「車窓カメラ」や、アプリ上での録画機能などが新たに追加されました。

※4 「日本おもちゃ大賞2016」受賞リリース

http://www.takaratomy.co.jp/product_release/pdf/p160607.pdf

<報道各位から本件に関するお問い合わせ先>

株式会社タカラトミー 広報課 TEL 03-5654-1280 FAX 03-5654-1380

<読者から商品に関するお問い合わせ先>

株式会社タカラトミーお客様相談室 TEL: 0570-04-1031(ナビダイヤル)

※IP 電話・一部携帯電話、PHS 及び海外からのお電話は03-5650-1031をご利用ください。